

# ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)

## 運用報告書 (全体版)

第153期 (決算日 2019年4月10日)  
第154期 (決算日 2019年5月10日)  
第155期 (決算日 2019年6月10日)  
第156期 (決算日 2019年7月10日)  
第157期 (決算日 2019年8月13日)  
第158期 (決算日 2019年9月10日)

(作成対象期間 2019年3月12日～2019年9月10日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の国債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ日本国債マザーファンドの受益証券
	ダイワ日本国債マザーファンド	わが国の公社債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配を付加することがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数 (参考指数)		公社債 組入比率	債券先 物率 比	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
129期末(2017年4月10日)	円 9,968	円 20	% 0.3	12,955	% 0.4	% 99.6	% -	百万円 351,755
130期末(2017年5月10日)	9,947	20	△0.0	12,965	0.1	99.3	-	348,586
131期末(2017年6月12日)	9,918	20	△0.1	12,964	△0.1	99.2	-	343,115
132期末(2017年7月10日)	9,866	20	△0.3	12,908	△0.4	99.4	-	336,019
133期末(2017年8月10日)	9,875	20	0.3	12,966	0.4	99.2	-	327,828
134期末(2017年9月11日)	9,898	20	0.4	13,030	0.5	99.1	-	322,993
135期末(2017年10月10日)	9,836	20	△0.4	12,962	△0.5	99.5	-	317,347
136期末(2017年11月10日)	9,827	20	0.1	13,003	0.3	99.3	-	311,525
137期末(2017年12月11日)	9,808	20	0.0	13,003	△0.0	99.5	-	304,891
138期末(2018年1月10日)	9,762	20	△0.3	12,969	△0.3	99.4	-	299,425
139期末(2018年2月13日)	9,752	20	0.1	13,005	0.3	99.3	-	289,098
140期末(2018年3月12日)	9,753	20	0.2	13,050	0.3	99.1	-	284,496
141期末(2018年4月10日)	9,741	20	0.1	13,076	0.2	99.4	-	276,821
142期末(2018年5月10日)	9,710	20	△0.1	13,063	△0.1	99.2	-	271,736
143期末(2018年6月11日)	9,690	20	0.0	13,071	0.1	99.2	-	266,152
144期末(2018年7月10日)	9,680	20	0.1	13,109	0.3	99.5	-	260,745
145期末(2018年8月10日)	9,613	20	△0.5	12,991	△0.9	99.3	-	254,137
146期末(2018年9月10日)	9,588	20	△0.1	12,987	△0.0	99.3	-	249,305
147期末(2018年10月10日)	9,547	20	△0.2	12,928	△0.5	99.4	-	242,950
148期末(2018年11月12日)	9,551	20	0.3	12,974	0.4	99.2	-	237,318
149期末(2018年12月10日)	9,577	20	0.5	13,071	0.7	99.1	-	233,923
150期末(2019年1月10日)	9,574	20	0.2	13,143	0.6	99.4	-	226,017
151期末(2019年2月12日)	9,576	20	0.2	13,222	0.6	99.1	-	223,170
152期末(2019年3月11日)	9,566	20	0.1	13,249	0.2	99.2	-	220,940
153期末(2019年4月10日)	9,562	20	0.2	13,305	0.4	99.2	-	216,084
154期末(2019年5月10日)	9,534	20	△0.1	13,297	△0.1	99.0	-	213,864
155期末(2019年6月10日)	9,560	20	0.5	13,441	1.1	99.3	-	212,447
156期末(2019年7月10日)	9,538	20	△0.0	13,443	0.0	99.4	-	209,219
157期末(2019年8月13日)	9,597	20	0.8	13,642	1.5	99.2	-	208,593
158期末(2019年9月10日)	9,560	20	△0.2	13,566	△0.6	98.9	-	205,324

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数 (参考指数) は、ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、株式会社大和総研が公表している日本国債のパフォーマンス・インデックスです。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

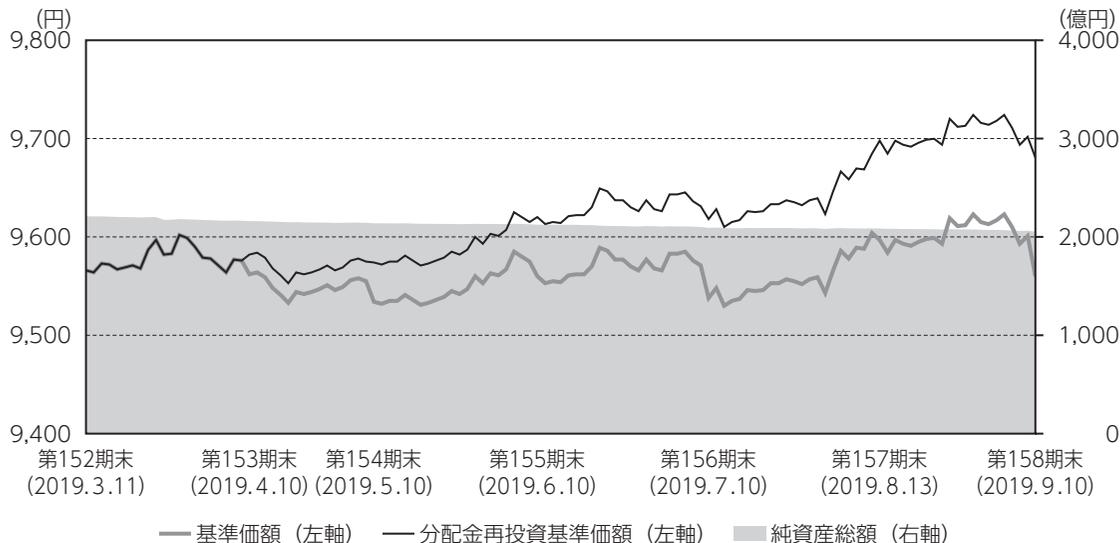
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第153期首：9,566円

第158期末：9,560円（既払分配金120円）

騰落率：1.2%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じてわが国の国債に投資した結果、金利の低下により債券価格が上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		ダイワ・ボンド・インデックス ( D B I ) 国 債 指 数		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第153期	(期首) 2019年3月11日	円	%		%	%	%
	3月末	9,566	－	13,249	－	99.2	－
	(期末) 2019年4月10日	9,599	0.3	13,331	0.6	99.1	－
第154期	(期首) 2019年4月10日	9,582	0.2	13,305	0.4	99.2	－
	4月末	9,562	－	13,305	－	99.2	－
	(期末) 2019年5月10日	9,549	△0.1	13,285	△0.1	99.3	－
第155期	(期首) 2019年5月10日	9,554	△0.1	13,297	△0.1	99.0	－
	5月末	9,534	－	13,297	－	99.0	－
	(期末) 2019年6月10日	9,563	0.3	13,375	0.6	99.3	－
第156期	(期首) 2019年6月10日	9,580	0.5	13,441	1.1	99.3	－
	6月末	9,560	－	13,441	－	99.3	－
	(期末) 2019年7月10日	9,577	0.2	13,464	0.2	99.3	－
第157期	(期首) 2019年7月10日	9,558	△0.0	13,443	0.0	99.4	－
	7月末	9,538	－	13,443	－	99.4	－
	(期末) 2019年8月13日	9,559	0.2	13,480	0.3	99.4	－
第158期	(期首) 2019年8月13日	9,617	0.8	13,642	1.5	99.2	－
	8月末	9,597	－	13,642	－	99.2	－
	(期末) 2019年9月10日	9,615	0.2	13,687	0.3	99.3	－
		9,580	△0.2	13,566	△0.6	98.9	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

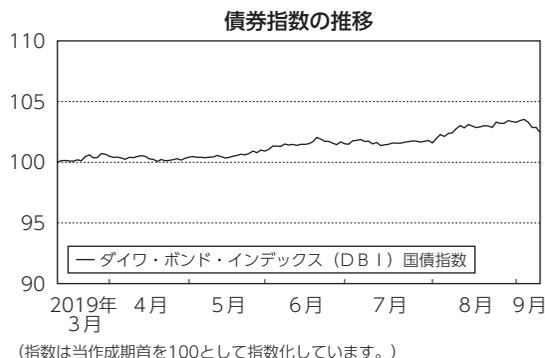
## 投資環境について

(2019.3.12~2019.9.10)

### 国内債券市況

国内債券市場では、当作成期を通して見ると長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首より、欧米の経済指標の下振れなどにより世界的な景気減速懸念が高まったことから、金利は低下しました。また、欧米の中央銀行が緩和的な金融政策の方針を示したことも、金利低下要因となりました。その後も、米中貿易摩擦の激化への懸念や米国の利下げ観測の高まりなどを受けて、長期金利は低下しました。2019年9月には、米中貿易摩擦の懸念が和らいだことなどから、長期金利は上昇しました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行います。

### ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2019.3.12~2019.9.10)

### ■当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行いました。

### ■ダイワ日本国債マザーファンド

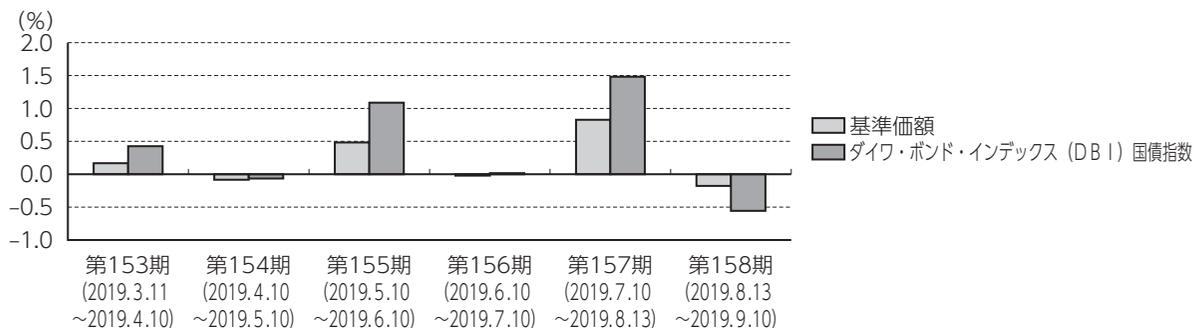
運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して残存15年以上の国債の組み入れがないという特徴があります。参考指数は国内債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第153期	第154期	第155期	第156期	第157期	第158期
	2019年3月12日 ～2019年4月10日	2019年4月11日 ～2019年5月10日	2019年5月11日 ～2019年6月10日	2019年6月11日 ～2019年7月10日	2019年7月11日 ～2019年8月13日	2019年8月14日 ～2019年9月10日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（％）	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
当期の収益（円）	14	14	15	14	17	13
当期の収益以外（円）	5	5	4	5	2	6
翌期繰越分配対象額（円）	1,017	1,012	1,008	1,002	999	992

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第153期	第154期	第155期	第156期	第157期	第158期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 14.70円	✓ 14.29円	✓ 15.84円	✓ 14.24円	✓ 17.30円	✓ 13.09円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,023.12	✓ 1,017.86	✓ 1,012.20	✓ 1,008.12	✓ 1,002.44	✓ 999.77
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,037.83	1,032.16	1,028.04	1,022.37	1,019.74	1,012.86
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,017.83	1,012.16	1,008.04	1,002.37	999.74	992.86

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主として「ダイワ日本国債マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざした運用を行います。

### ■ダイワ日本国債マザーファンド

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間（残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分）の各投資金額がほぼ同程度となるような運用（ラダー型運用）を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第153期～第158期 (2019.3.12～2019.9.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	9円	0.096%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,568円です。
（投 信 会 社）	(4)	(0.040)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(4)	(0.040)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	9	0.098	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

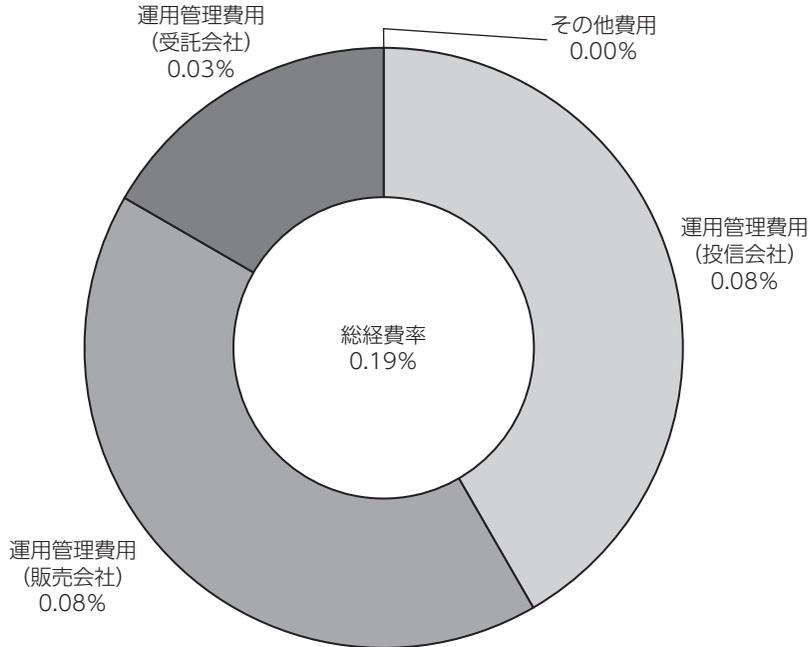
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.19%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

決算期	第153期～第158期					
	設定			解約		
	□	数	金額	□	数	金額
		千口	千円		千口	千円
ダイワ日本国債マザーファンド	589,038		749,404	14,925,361		18,986,186

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

#### (1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

決算期	第153期～第158期						
	買付額等 A		うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C		うち利害 関係人との 取引状況D
	百万円	百万円			%	百万円	
公社債	62,024	14,862	24.0	75,591	623	0.8	
コール・ローン	79,508	-	-	-	-	-	

(注) 平均保有割合93.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年4月10日)、(2019年5月10日)、(2019年6月10日)、(2019年7月10日)、(2019年8月13日)、(2019年9月10日)現在

項目	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末	第157期末	第158期末
<b>(A) 資産</b>	<b>216,871,615,179円</b>	<b>214,493,058,774円</b>	<b>213,326,187,492円</b>	<b>210,117,551,432円</b>	<b>209,367,854,015円</b>	<b>206,173,227,049円</b>
コール・ローン等	621,816,261	642,348,277	634,149,425	646,049,535	664,849,788	795,398,560
ダイワ日本国債マザーファンド(評価額)	216,078,239,315	213,831,198,008	212,429,263,195	209,359,378,432	208,507,955,302	205,377,828,489
未収入金	171,559,603	19,512,489	262,774,872	112,123,465	195,048,925	-
<b>(B) 負債</b>	<b>787,053,749</b>	<b>628,218,706</b>	<b>879,080,803</b>	<b>897,875,884</b>	<b>774,387,258</b>	<b>849,223,120</b>
未払収益分配金	451,984,395	448,634,601	444,455,561	438,686,355	434,712,412	429,525,872
未払解約金	300,028,492	144,992,302	398,946,268	424,785,092	301,015,818	387,735,562
未払信託報酬	34,860,040	34,229,828	35,130,765	33,674,684	37,723,018	30,854,342
その他未払費用	180,822	361,975	548,209	729,753	936,010	1,107,344
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>216,084,561,430</b>	<b>213,864,840,068</b>	<b>212,447,106,689</b>	<b>209,219,675,548</b>	<b>208,593,466,757</b>	<b>205,324,003,929</b>
元本	225,992,197,632	224,317,300,800	222,227,780,806	219,343,177,822	217,356,206,418	214,762,936,421
次期繰越損益金	△ 9,907,636,202	△ 10,452,460,732	△ 9,780,674,117	△ 10,123,502,274	△ 8,762,739,661	△ 9,438,932,492
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>225,992,197,632□</b>	<b>224,317,300,800□</b>	<b>222,227,780,806□</b>	<b>219,343,177,822□</b>	<b>217,356,206,418□</b>	<b>214,762,936,421□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	9,562円	9,534円	9,560円	9,538円	9,597円	9,560円

\*第152期末における元本額は230,966,777,898円、当作成期間(第153期～第158期)中における追加設定元本額は9,547,272,245円、同解約元本額は25,751,113,722円です。

\*第158期末の計算口数当りの純資産額は9,560円です。

\*第158期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,438,932,492円です。

### (3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

### ■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第152期末		第158期末	
	□	数	□	数
		千口		千口
ダイワ日本国債マザーファンド	174,662,496		160,326,173	205,377,828

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項目	第158期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ日本国債マザーファンド	205,377,828	99.6
コール・ローン等、その他	795,398	0.4
投資信託財産総額	206,173,227	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■損益の状況

第153期 自2019年3月12日 至2019年4月10日 第156期 自2019年6月11日 至2019年7月10日  
 第154期 自2019年4月11日 至2019年5月10日 第157期 自2019年7月11日 至2019年8月13日  
 第155期 自2019年5月11日 至2019年6月10日 第158期 自2019年8月14日 至2019年9月10日

項 目	第 153 期	第 154 期	第 155 期	第 156 期	第 157 期	第 158 期
(A) 配当等収益	△ 16,115円	△ 13,617円	△ 12,009円	△ 17,401円	△ 17,426円	△ 11,496円
受取利息	173	62	95	179	173	94
支払利息	△ 16,288	△ 13,679	△ 12,104	△ 17,580	△ 17,599	△ 11,590
(B) 有価証券売買損益	385,425,463	△ 134,108,841	1,052,687,850	216,630	1,739,098,564	△ 321,220,714
売買益	399,321,301	3,342,092	1,057,972,810	6,145,830	1,746,921,972	3,800,705
売買損	△ 13,895,838	△ 137,450,933	△ 5,284,960	△ 5,929,200	△ 7,823,408	△ 325,021,419
(C) 信託報酬等	△ 35,040,862	△ 34,410,981	△ 35,318,250	△ 33,856,701	△ 37,929,275	△ 31,026,469
(D) 当期損益金(A+B+C)	350,368,486	△ 168,533,439	1,017,357,591	△ 33,657,472	1,701,151,863	△ 352,258,679
(E) 前期繰越損益金	△12,526,788,913	△12,363,991,465	△12,673,140,091	△11,735,089,407	△11,877,321,617	△10,352,585,441
(F) 追加信託差損益金	2,720,768,620	2,528,698,773	2,319,563,944	2,083,930,960	1,848,142,505	1,695,437,500
(配当等相当額)	( 23,121,877,417)	( 22,832,464,936)	( 22,493,983,431)	( 22,112,588,794)	( 21,788,695,025)	( 21,471,383,383)
(売買損益相当額)	(△20,401,108,797)	(△20,303,766,163)	(△20,174,419,487)	(△20,028,657,834)	(△19,940,552,520)	(△19,775,945,883)
(G) 合計(D+E+F)	△ 9,455,651,807	△10,003,826,131	△ 9,336,218,556	△ 9,684,815,919	△ 8,328,027,249	△ 9,009,406,620
(H) 収益分配金	△ 451,984,395	△ 448,634,601	△ 444,455,561	△ 438,686,355	△ 434,712,412	△ 429,525,872
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,907,636,202	△10,452,460,732	△ 9,780,674,117	△10,123,502,274	△ 8,762,739,661	△ 9,438,932,492
追加信託差損益金	2,601,166,837	2,400,750,440	2,227,195,894	1,957,695,017	1,789,545,456	1,547,155,200
(配当等相当額)	( 23,002,275,634)	( 22,704,516,603)	( 22,401,615,381)	( 21,986,352,851)	( 21,730,097,976)	( 21,323,101,083)
(売買損益相当額)	(△20,401,108,797)	(△20,303,766,163)	(△20,174,419,487)	(△20,028,657,834)	(△19,940,552,520)	(△19,775,945,883)
繰越損益金	△12,508,803,039	△12,853,211,172	△12,007,870,011	△12,081,197,291	△10,552,285,117	△10,986,087,692

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 153 期	第 154 期	第 155 期	第 156 期	第 157 期	第 158 期
(a) 経費控除後の配当等収益	332,382,612円	320,686,268円	352,087,511円	312,450,412円	376,115,363円	281,243,572円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	23,121,877,417	22,832,464,936	22,493,983,431	22,112,588,794	21,788,695,025	21,471,383,383
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	23,454,260,029	23,153,151,204	22,846,070,942	22,425,039,206	22,164,810,388	21,752,626,955
(f) 分配金	451,984,395	448,634,601	444,455,561	438,686,355	434,712,412	429,525,872
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	23,002,275,634	22,704,516,603	22,401,615,381	21,986,352,851	21,730,097,976	21,323,101,083
(h) 受益権総口数	225,992,197,632口	224,317,300,800口	222,227,780,806口	219,343,177,822口	217,356,206,418口	214,762,936,421口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 153 期	第 154 期	第 155 期	第 156 期	第 157 期	第 158 期
1 万 口 当 り 分 配 金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ日本国債マザーファンド」の決算日（2019年3月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第158期の決算日（2019年9月10日）現在におけるダイワ日本国債マザーファンドの組入資産の内容等を12～13ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ日本国債マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
111	20年国債 2.2% 2029/6/20	14,862,000	7	30年国債 2.3% 2032/5/20	15,587,571
142	20年国債 1.8% 2032/12/20	14,736,360	64	20年国債 1.9% 2023/9/20	14,639,234
58	20年国債 1.9% 2022/9/20	11,670,848	56	20年国債 2% 2022/6/20	11,953,934
102	20年国債 2.4% 2028/6/20	7,642,678	102	20年国債 2.4% 2028/6/20	8,282,169
75	20年国債 2.1% 2025/3/20	3,980,445	95	20年国債 2.3% 2027/6/20	7,947,894
91	20年国債 2.3% 2026/9/20	3,920,103	80	20年国債 2.1% 2025/6/20	3,775,299
88	20年国債 2.3% 2026/6/20	3,545,910	12	30年国債 2.1% 2033/9/20	1,285,508
48	20年国債 2.5% 2020/12/21	628,170	54	20年国債 2.2% 2021/12/20	1,061,590
43	20年国債 2.9% 2019/9/20	609,054	6	30年国債 2.4% 2031/11/20	1,038,596
56	20年国債 2% 2022/6/20	428,476	4	30年国債 2.9% 2030/11/20	935,880

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年9月10日現在におけるダイワ日本国債マザーファンド（172,064,618千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2019年9月10日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 185,215,000	千円 218,008,640	% 98.9	% -	% 66.0	% 19.8	% 13.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2019年9月10日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	43 20年国債	2.9000	13,572,000	13,582,043	2019/09/20	
	44 20年国債	2.5000	900,000	912,960	2020/03/20	
	48 20年国債	2.5000	14,101,000	14,602,290	2020/12/21	
	54 20年国債	2.2000	13,687,000	14,468,664	2021/12/20	
	58 20年国債	1.9000	12,525,000	13,370,061	2022/09/20	
	59 20年国債	1.7000	795,000	847,851	2022/12/20	
	68 20年国債	2.2000	2,725,000	3,038,565	2024/03/20	
	70 20年国債	2.4000	10,438,000	11,811,118	2024/06/20	
	75 20年国債	2.1000	6,374,000	7,240,800	2025/03/20	
	80 20年国債	2.1000	6,473,000	7,396,438	2025/06/20	
	86 20年国債	2.3000	6,300,000	7,399,161	2026/03/20	
	88 20年国債	2.3000	6,060,000	7,159,102	2026/06/20	
	91 20年国債	2.3000	5,700,000	6,770,745	2026/09/20	
	95 20年国債	2.3000	6,105,000	7,376,976	2027/06/20	
	101 20年国債	2.4000	5,960,000	7,357,441	2028/03/20	
	102 20年国債	2.4000	5,800,000	7,191,478	2028/06/20	
111 20年国債	2.2000	11,500,000	14,265,175	2029/06/20		
1 30年国債	2.8000	11,250,000	14,680,012	2029/09/20		
4 30年国債	2.9000	10,900,000	14,675,869	2030/11/20		
6 30年国債	2.4000	11,250,000	14,739,412	2031/11/20		
7 30年国債	2.3000	100,000	130,757	2032/05/20		
142 20年国債	1.8000	11,300,000	14,140,594	2032/12/20		
12 30年国債	2.1000	11,400,000	14,851,122	2033/09/20		
合 計	銘 柄 数 金 額	23銘柄		185,215,000	218,008,640	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2019年3月11日)

(作成対象期間 2018年3月13日～2019年3月11日)

ダイワ日本国債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

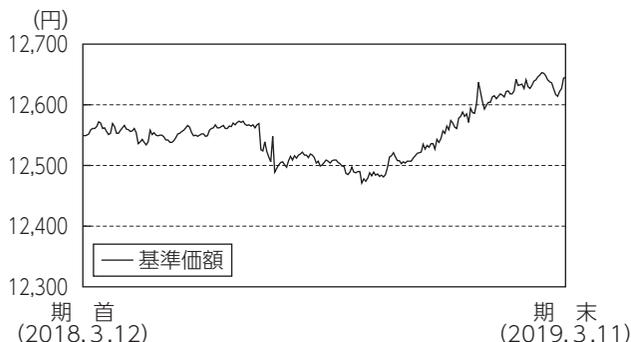
運用方針	わが国の国債を投資対象とし、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の公社債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		ダイワ・ボンド・インデックス(DBI)国債指数		公社債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(期首)2018年3月12日	12,550	-	12,896	-	99.1	-
3月末	12,551	0.0	12,909	0.1	99.6	-
4月末	12,539	△0.1	12,899	0.0	99.3	-
5月末	12,563	0.1	12,929	0.3	99.3	-
6月末	12,564	0.1	12,935	0.3	99.4	-
7月末	12,548	△0.0	12,910	0.1	99.2	-
8月末	12,507	△0.3	12,834	△0.5	99.2	-
9月末	12,489	△0.5	12,799	△0.8	99.5	-
10月末	12,508	△0.3	12,821	△0.6	99.2	-
11月末	12,538	△0.1	12,880	△0.1	99.5	-
12月末	12,602	0.4	12,986	0.7	99.5	-
2019年1月末	12,623	0.6	13,041	1.1	99.3	-
2月末	12,636	0.7	13,072	1.4	99.2	-
(期末)2019年3月11日	12,645	0.8	13,093	1.5	99.2	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数の原データに基づき、当ファンド設定日の前営業日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ダイワ・ボンド・インデックス (DBI) 国債指数は、株式会社大和総研が公表している日本国債のパフォーマンス・インデックスです。  
 (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。  
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。  
 (注5) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,550円 期末：12,645円 騰落率：0.8%

【基準価額の主な変動要因】

主としてわが国の国債に投資した結果、金利の低下による債券価格の上昇や国債からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内債券市況

国内債券市場では、当作成期を通してみると長期金利は低下しました。

当作成期首より、長期金利はおおむねレンジ内での推移が続きましたが、2018年7月下旬に日銀が金融政策を修正するとの観測報道を受けて、長期金利は上昇しました。7月末に日銀は金融緩和継続のための枠組み強化を決定し、その後9月半ば以降は、米国金利の上昇や株高などを受けて長期金利は上昇しました。しかし10月後半以降は、世界的な株安により市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、長期金利の低下が継続しました。また、米国を中心とした世界的な景気悪化懸念や米国の利上げ停止観測の高まりも、金利の低下要因となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間 (残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分) の各投資金額がほぼ同程度となるような運用 (ラダー型運用) を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

運用の基本方針に基づき、当作成期を通じてわが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間 (残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分) の各投資金額がほぼ同程度となるような運用 (ラダー型運用) を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して残存15年以上の国債の組み入れがないという特徴があります。参考指数は国内債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

運用の基本方針に基づき、わが国の国債の組入比率を高位に保ちつつ、1年ごとの残存期間 (残存1年未満、残存1年以上2年未満、…、残存14年以上15年未満など、全15区分) の各投資金額がほぼ同程度となるような運用 (ラダー型運用) を行ってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年3月13日から2019年3月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	国債証券	171,644,634	213,849,649 ( 18,228,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年3月13日から2019年3月11日まで)

当 期				
買 付		売 付		
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額	金 額
千円		千円		
142 20年国債 1.8% 2032/12/20	18,510,104	44 20年国債 2.5% 2020/3/20	19,204,599	
2 30年国債 2.4% 2030/2/20	16,708,862	2 30年国債 2.4% 2030/2/20	19,204,302	
12 30年国債 2.1% 2033/9/20	15,613,336	142 20年国債 1.8% 2032/12/20	18,373,727	
64 20年国債 1.9% 2023/9/20	14,702,090	7 30年国債 2.3% 2032/5/20	17,856,215	
56 20年国債 2% 2022/6/20	14,230,528	58 20年国債 1.9% 2022/9/20	11,537,500	
44 20年国債 2.5% 2020/3/20	13,607,494	56 20年国債 2% 2022/6/20	11,084,203	
7 30年国債 2.3% 2032/5/20	13,432,638	95 20年国債 2.3% 2027/6/20	11,027,374	
58 20年国債 1.9% 2022/9/20	10,099,056	106 20年国債 2.2% 2028/9/20	9,615,432	
102 20年国債 2.4% 2028/6/20	9,683,856	111 20年国債 2.2% 2029/6/20	9,232,044	
111 20年国債 2.2% 2029/6/20	9,353,396	42 20年国債 2.6% 2019/3/20	7,694,233	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建)公社債(種類別)

区 分	当 期				末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	199,387,000	232,844,264	99.2	-	66.2	19.8	13.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期			償還年月日
			額面金額	評 価 額	末	
		%	千円	千円		
国債証券	42 20年国債	2.6000	1,948,000	1,949,149		2019/03/20
	43 20年国債	2.9000	13,572,000	13,789,423		2019/09/20
	44 20年国債	2.5000	900,000	924,408		2020/03/20
	48 20年国債	2.5000	13,901,000	14,558,934		2020/12/21
	54 20年国債	2.2000	14,687,000	15,651,054		2021/12/20
	55 20年国債	2.0000	504,000	537,001		2022/03/21
	56 20年国債	2.0000	10,800,000	11,565,828		2022/06/20
	58 20年国債	1.9000	1,925,000	2,065,602		2022/09/20
	59 20年国債	1.7000	1,095,000	1,172,350		2022/12/20
	63 20年国債	1.8000	700,000	758,877		2023/06/20
	64 20年国債	1.9000	13,400,000	14,655,044		2023/09/20
	68 20年国債	2.2000	3,425,000	3,833,225		2024/03/20
	70 20年国債	2.4000	10,438,000	11,856,106		2024/06/20
	75 20年国債	2.1000	3,574,000	4,063,888		2025/03/20
	80 20年国債	2.1000	9,773,000	11,169,170		2025/06/20
	86 20年国債	2.3000	6,700,000	7,864,862		2026/03/20
	88 20年国債	2.3000	3,760,000	4,437,439		2026/06/20
	91 20年国債	2.3000	2,800,000	3,320,912		2026/09/20
	95 20年国債	2.3000	12,705,000	15,274,332		2027/06/20
	101 20年国債	2.4000	6,260,000	7,670,816		2028/03/20
	102 20年国債	2.4000	6,300,000	7,748,874		2028/06/20
	1 30年国債	2.8000	11,950,000	15,447,526		2029/09/20
	4 30年国債	2.9000	11,600,000	15,452,244		2030/11/20
	6 30年国債	2.4000	12,050,000	15,552,935		2031/11/20
	7 30年国債	2.3000	12,220,000	15,709,298		2032/05/20
	12 30年国債	2.1000	12,400,000	15,814,960		2033/09/20
合計	銘柄数	26銘柄				
	金額		199,387,000	232,844,264		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月11日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
公社債	232,844,264	99.2	
コール・ローン等、その他	1,795,753	0.8	
投資信託財産総額	234,640,017	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ日本国債マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>234,640,017,733円</b>
コール・ローン等	210,708,094
公社債(評価額)	232,844,264,230
未収利息	1,495,744,895
前払費用	89,300,514
<b>(B) 負債</b>	<b>17,485,845</b>
未払解約金	17,485,424
その他未払費用	421
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>234,622,531,888</b>
元本	185,551,618,583
次期繰越損益金	49,070,913,305
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>185,551,618,583口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	12,645円

\* 期首における元本額は238,772,332,746円、当作成期間中における追加設定元本額は1,616,631,560円、同解約元本額は54,837,345,723円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日本国債ファンドV A (適格機関投資家専用) 4,091,058円、安定重視ポートフォリオ (奇数月分配型) 238,960,660円、6資産バランスファンド (分配型) 274,643,674円、6資産バランスファンド (成長型) 153,489,306円、ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型) 174,662,496,633円、世界6資産均等分散ファンド (毎月分配型) 84,136,626円、ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド45,281,449円、ダイワ日本国債ファンド (年1回決算型) 9,894,303,026円、ダイワ・ニッポン応援ファンドVol.4 -日本の真価- (国債コース) 194,216,151円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,645円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年3月13日 至2019年3月11日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>5,303,704,339円</b>
受取利息	5,304,286,483
支払利息	△ 582,144
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 3,564,210,420</b>
売買益	512,441,850
売買損	△ 4,076,652,270
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 74,526</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>1,739,419,393</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>60,886,245,438</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 13,968,304,492</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>413,552,966</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>49,070,913,305</b>
次期繰越損益金(H)	49,070,913,305

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。